

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は千歳で生まれ育ち、現在も千歳から札幌の職場に通勤しています。大学時代は、千歳からJRで2時間かけて手稲まで通っていたのもよい思い出です。

私は大学を卒業してから現在にいたるまで、海にかかわる仕事をさせていただき、現在は、港湾・漁港・海岸のインフラ整備にかかわる仕事をしております。私の妻は若いころスキューバーダイビングをしていたこともあり、海との関わりが多く、3人の子供たちの名前にも「海」という文字をいれた名前にしました。(海月、竜海、海)3人目の子供は、打ち止めと言う気持ちを込めて海(かい)と言う名前です。

技術士試験は、8回目のチャレンジでやっと合格させていただきました。□頭試験対策のための勉強はとてもハードでしたが、自分自身の「資質向上」にはとても役立ったと思います。合格後は、恩返しのためにも勉強会を通じ受験指導のお手伝いをさせていただいております。

子供たちも現在技術職で働いており、子供達には「技術屋としてこれから働いていくのなら、技術士の資格は必ず取れ」と言っております。父親としてやっと子供たちに言える立場となり、ほっとしている所でもあります。

今後は、北海道のインフラ整備及び水産業の発展のため、微力ながら技術者として頑張っていきたいと思っています。

島倉 知広 (しまくら ともひろ)

●水産部門(水産土木)

勤務先

パブリックコンサルタント
株式会社



→次号は、高橋伸次郎さん(水産部門)

私は2006年(平成18年)に社会人となり、紆余曲折ありましたが道路に携わる仕事に従事してきました。家業柄、子どもの頃から広く建設業界に興味があり、学生時代は公園などの緑地計画学を学びました。社会人として、これまで維持管理や除雪効率化、点検、雪、交通量、生活環境、自然環境等をキーワードとして広くソフト面の調査、分析、解析業務に携わることができました。

特に自分自身で調査し、結果をまとめて分析することが好きで、自分なりに課題を見つけながら日々仕事に励んでまいりました。まだ志半ばですが、ここまで来られたのも先輩技術士のご指導をいただけたお陰だと思っています。特に経験豊富な技術者とフィールドワークを通じて学ぶことができたことは、仕事や実生活上の考え方の礎になっています。この場を借りてお礼申し上げます。

私が社会人になった頃にはパソコンが1人1台与えられ、これを使いこなすことが必須条件となっていたように思います。私自身も例外なく苦心したことを覚えており、その中で維持管理台帳等のデータベース作成に携わることができたことは、物事を論理的に思考する上でも非常に有益だったと思います。

近年ではいわゆるビッグデータを扱う機会も増え、ある一定の解を求めることがあります。求められた解の確かさは計算過程が持つ意味を十分理解して、その結果を技術者としてどのように解釈するかということが重要であると考えており、その部分で自分はまだまだ未熟だと思っています。解析から得られる結果とそれがもつ意味を正しく解釈し、最適な判断ができる技術者になれるよう自己研鑽を行いたいと思っています。そのうえで微力ながら社会基盤整備に貢献できたらと考えています。

山本 岳 (やまもと がつ)

●建設部門(道路)

勤務先

株式会社エーティック



→次号は、新造太郎さん(建設部門/河川・砂防)